

トルコ

Republic of Turkey

	2010年	2011年	2012年
①人口:7,563万人(2012年末推計)			
②面積:78万5,347km ²			
③1人当たりGDP:1万609米ドル (2012年)			
④実質GDP成長率(%)	9.2	8.8	2.2
⑤消費者物価上昇率(%)	8.6	6.5	8.9
⑥失業率(%)	11.9	9.8	9.2
⑦貿易収支(100万米ドル)	△ 56,413	△ 89,139	△ 65,326
⑧経常収支(100万米ドル)	△ 45,447	△ 75,092	△ 47,729
⑨外貨準備高(100万米ドル, 期末値)	80,713	78,322	99,943
⑩対外債務残高(グロス)(100万米ドル, 期末値)	291,969	304,361	337,492
⑪為替レート(1米ドルにつき, 新トルコ・リラ, 期中平均)	1.503	1.675	1.796

〔出所〕①②④:トルコ統計機構, ③:WEO, ⑤⑥⑨⑪:IFS, ⑦⑧:トルコ中央銀行, ⑩:首相府財務庁

2012年のトルコ経済は、経常赤字縮小を目的とした金融引き締め政策の影響を受け内需が低迷し、実質GDP成長率は前年比2.2%と前年の8.8%から大きく低下した。貿易収支は、輸出が13.8%増と好調であったが、輸入は内需の冷え込みで1.7%減となり、赤字額は26.7%縮小した。この結果、経常赤字額はGDP比で2011年の9.7%から6.1%にまで縮小した。前年好調であった対内直接投資は、全体の7割を占めるEUからの投資減を主因に、21.7%減となった。2013年は、金融緩和に転じたこともあり、第1四半期の成長率は消費主導で前年同期比3.0%と回復へ向かっている。

■金融引き締め政策で大幅な成長鈍化

2010年から続いた8~9%台の高成長で景気に過熱感がみられたため、政府は経常赤字、インフレの抑制を目的に2011年10月以降自動車などの特別消費税を引き上げ、トルコ中央銀行も数度にわたり銀行預金準備率を引き上げた。成長率は2011年第4四半期より低下し始めたが、経済の減速は当局の予測を上回り、2012年の実質GDP成長率は政府の修正予測3.2%(2012年10月、中期経済プログラム)をも下回る2.2%となった。内需は、投資が7.5%減少したことに加え、消費も0.1%増と横ばいで推移したことから低迷した。なお、投資、消費ともに減少したのは在庫変動、民間投資(前年比4.5%減)、家計消費(0.7%減)など民間部門で、政府部門は逆に消費(5.7%増)、投資(8.9%増)ともに拡大し景気を下支えした。

一方、成長を牽引したのは17.2%増加した輸出で、外

需主導の経済成長となった。1人当たりGDPは1.3%増の1万609ドルであった。

トルコは慢性的な経常赤字国で、経常赤字を資本流入でバランスさせる経済構造を持つ。2000年代初頭には、資本流出により外貨流動性危機を引き起こしたこともあり、経常赤字問題はトルコ経済の抱える大きなリスク要因である。2012年の経常赤字は、前年より274億ドル縮小し、477億2,900万ドルとなった。これは貿易収支の赤字が3割弱縮小したことが主因だが、サービス収支も観光客数の増加などを背景に13.8%増となり、経常赤字圧縮に寄与した。一方、資本収支の黒字額は前年比3.6%増加し690億8,300万ドルとなり、資金需要はバランスしている。しかし、5月末に発生したイスタンブールのゲジ公園の開発計画を契機とする反政府抗議活動が長期化しており、トルコ・リラの急落や観光客の減少などが経済に悪影響を及ぼしている。

表1 トルコ主要経済指標

	2011年	2012年	2012年				2013年
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	8.8	2.2	3.3	2.9	1.6	1.4	3.0
消費	7.3	0.1	0.3	△ 0.5	0.3	0.4	3.5
民間最終消費支出	7.7	△ 0.7	△ 0.4	△ 1.3	△ 0.4	△ 0.8	3.0
政府最終消費支出	4.7	5.7	5.5	4.4	5.5	7.1	7.2
投資	16.8	△ 7.5	△ 7.6	△ 7.7	△ 6.5	△ 8.5	1.1
国内総固定資本形成(民間)	22.3	△ 4.5	1.0	△ 3.6	△ 6.2	△ 9.2	△ 9.1
国内総固定資本形成(政府)	△ 2.2	8.9	△ 2.1	3.6	6.5	21.4	81.9
財貨・サービスの輸出	7.9	17.2	15.0	24.0	15.0	15.0	3.4
財貨・サービスの輸入(控除)	10.7	0.0	△ 5.1	0.4	2.0	3.2	3.2

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。実質:1998年価格。

〔出所〕トルコ統計機構

■イラン向け金の輸出増により貿易赤字は20.6%減

トルコ統計機構の貿易統計によると、2012年の輸出は前年比13.0%増の1,524億6,400万ドルと前年の18.5%増に続き好調を維持した一方、輸入は1.8%減の2,365億4,500万ドルとなり、貿易赤字は20.6%減の840億8,100万ドルとなった。しかし、輸入は2010年、11

表2 トルコの国際収支

	(単位:100 万ドル, %)					
	2011 年		2012 年		2012 年(1-4 月)	2013 年(1-4 月)
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
経常収支	△ 75,092	△ 47,729	-	△ 20,763	△ 24,335	-
貿易収支	△ 89,139	△ 65,326	-	△ 21,932	△ 25,607	-
輸出(FOB)	143,396	163,226	13.8	50,924	53,189	4.4
輸入(FOB)	△ 232,535	△ 228,552	△ 1.7	△ 72,856	△ 78,796	8.2
サービス収支	20,130	22,912	13.8	3,379	3,700	9.5
所得収支	△ 7,841	△ 6,698	-	△ 2,710	△ 2,690	-
移転収支	1,758	1,383	△ 21.3	500	262	△ 47.6
資本収支	66,673	69,083	3.6	17,688	44,671	152.5
投資収支	66,698	69,127	3.6	17,705	44,682	152.4
直接投資収支	13,698	8,484	△ 38.1	2,503	2,218	△ 11.4
対外直接投資	△ 2,349	△ 4,074	73.4	△ 2,528	△ 925	△ 63.4
対内直接投資	16,047	12,558	△ 21.7	5,031	3,143	△ 37.5
証券投資収支	21,986	40,789	85.5	6,222	18,090	190.7
その他投資収支	31,014	19,854	△ 36.0	8,980	24,374	171.4
その他資本収支	△ 25	△ 44	-	△ 17	△ 11	-
経常+資本収支	△ 8,419	21,354	-	△ 3,075	20,336	-
誤差脱漏	9,433	1,467	△ 84.4	4,658	△ 5,608	-
総合収支	1,014	22,821	2,150.6	1,583	14,728	830.4

〔出所〕トルコ中央銀行「国際収支統計」

けイラン向けが2.8倍、UAE向けが2.2倍、イラク向けが30.2%増と好調であった。一方、約4割を占める最大の貿易相手地域であるEU向け輸出は5.0%減と不振で、過去10年間で最低水準だった。

韓国向け輸出は0.1%減の5億2,800万ドルだった。日本向けは12.0%増の3億3,200万ドルで、衣料品、魚介類の輸出

年と2年続けて約3割増加しており、2012年は前年を下回ったとはいえ引き続き高い水準にある。

輸出を牽引したのは、10.7%を占める貴金属で、前年比4.4倍の163億2,500万ドルであった。次いで鉱物性燃料が17.9%増の77億800万ドル、電気機器が5.6%増の93億7,400万ドルとなった。

貴金属は、主としてイラン、アラブ首長国連邦(UAE)向けが急伸した。これは、米国の対イラン経済制裁措置により銀行を通じた貿易決済が困難なことを受けて、天然ガス輸入の対価を金で支払ったためとみられている。米国からの批判を避けるため、イラン向け非貨幣用金輸出は7月以降減少したが、8月以降はイランとの中継貿易地であるUAE向けが急増している。鉱物性燃料は石油が主体で、主としてエジプト、マルタ、ヨルダン向けの増加額が大きい。

国・地域別にみると、全体の約3割強を占める中近東・北アフリカ諸国向け輸出が前年比49.8%増加した。とりわ

増加額が大きい。

輸入を品目別にみると、鉱物性燃料、貴金属などの一部品目を除き軒並み前年を下回った。増加額の大きいものは、全体の25.4%を占める鉱物性燃料で、11.1%増の601億1,700万ドルと増加した。特に天然ガスの増加が著しい。貴金属の輸入も21.5%増となった。貴金属のうち約9割を占める非貨幣用金の主要輸入先はUAE(31億600万ドル、2.9倍)とスイス(25億4,800万ドル、9.0%減)であった。これはイランからの貿易決済に金を利用しているため非貨幣用金の需要が増大したためである。一方、全体の74.5%を占める工業製品は4.2%減少した。特に自動車・同部品の輸入額が国内自動車販売の減少を反映して15.5%減と2桁の減少となった。

国・地域別にみると、燃料油の国内消費量増加を反映してロシアからの輸入が11.2%増、中近東・北アフリカから3.9%増加した以外は、EU、アジア、米国など軒並み前年の水準を下回った。中近東の中ではUAEが倍増、イラン

表3 トルコの主要品目別輸出入

(単位:100 万ドル, %)

	輸出				輸入				
	2011 年		2012 年		2011 年		2012 年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
生鮮野菜・果物	3,909	3,807	2.5	△ 2.6	鉱物性燃料	54,118	60,117	25.4	11.1
鉱物性燃料	6,539	7,708	5.1	17.9	有機化学品	5,504	5,065	2.1	△ 8.0
プラスチック製品	4,580	5,013	3.3	9.5	医薬品	4,697	3,996	1.7	△ 14.9
ニット衣料	8,386	8,421	5.5	0.4	プラスチック製品	12,579	12,505	5.3	△ 0.6
ニットを除く衣料	5,124	5,433	3.6	6.0	貴金属	7,022	8,529	3.6	21.5
貴金属	3,739	16,325	10.7	336.6	鉄鋼	20,424	19,642	8.3	△ 3.8
鉄鋼	11,225	11,333	7.4	1.0	銅・同製品	4,119	3,878	1.6	△ 5.8
鉄鋼製品	5,748	6,093	4.0	6.0	一般機械	27,111	26,316	11.1	△ 2.9
一般機械	11,561	12,000	7.9	3.8	電気機器	16,835	16,280	6.9	△ 3.3
電気機器	8,874	9,374	6.1	5.6	自動車・同部品	17,184	14,514	6.1	△ 15.5
自動車・同部品	15,803	15,148	9.9	△ 4.1	精密機器	4,116	4,056	1.7	△ 1.5
合計(その他含む)	134,907	152,464	100.0	13.0	合計(その他含む)	240,842	236,545	100.0	△ 1.8

〔出所〕トルコ統計機構「TUIK データ」から作成

表4 トルコの主要国・地域別輸出入<再輸出を含む総額ベース>

	輸出				輸入			
	2011年		2012年		2011年		2012年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	62,347	59,199	38.8	△ 5.0	91,128	87,448	37.0	△ 4.0
ドイツ	13,951	13,126	8.6	△ 5.9	22,986	21,401	9.0	△ 6.9
英国	8,151	8,694	5.7	6.7	5,840	5,629	2.4	△ 3.6
イタリア	7,851	6,373	4.2	△ 18.8	13,450	13,344	5.6	△ 0.8
フランス	6,806	6,199	4.1	△ 8.9	9,230	8,590	3.6	△ 6.9
ロシア	5,993	6,681	4.4	11.5	23,953	26,625	11.3	11.2
米国	4,584	5,604	3.7	22.3	16,034	14,131	6.0	△ 11.9
中近東・北アフリカ	34,636	51,895	34.0	49.8	23,781	24,718	10.4	3.9
イラク	8,310	10,822	7.1	30.2	87	149	0.1	72.1
イラン	3,590	9,922	6.5	176.4	12,462	11,965	5.1	△ 4.0
アラブ首長国連邦	3,707	8,175	5.4	120.5	1,649	3,597	1.5	118.0
リビア	748	2,139	1.4	186.2	140	416	0.2	197.8
アジア	10,199	10,575	6.9	3.7	53,144	49,602	21.0	△ 6.7
中国	2,466	2,833	1.9	14.9	21,693	21,295	9.0	△ 1.8
インド	756	792	0.5	4.7	6,499	5,844	2.5	△ 10.1
韓国	529	528	0.3	△ 0.1	6,298	5,660	2.4	△ 10.1
日本	296	332	0.2	12.0	4,264	3,601	1.5	△ 15.5
合計(その他含む)	134,907	152,464	100.0	13.0	240,842	236,545	100.0	△ 1.8

[注] EUはキプロスを除く26カ国。

[出所] トルコ統計機構「TUIK データ」から作成

からの輸入は前年水準を下回った。このほか、リビアからの輸入が燃料油の輸入増で3倍になった。

自由貿易協定(FTA)は、2012年に発効したものは皆無であったが、2013は5月1日付で韓国、6月1日付でモーリシャスとの間で発効となった。

■欧州の不振で、対内直接投資は36.9%減

中銀発表の国際収支統計でトルコへの対内直接投資(株主資本:流入のみ計上)をみると、2012年は、前年比36.9%減の101億3,700万ドルと不調であった。業種別では、金融・保険が75.6%減、電力、ガス供給が78.3%減少した。また、国・地域別にみると、全体の70.8%を占めるEUからの投資が37.3%減の71億8,000万ドルだった。経済省の国際直接投資情報報告2013年2月号所収の暫定値によると、2012年に投資を行った外資系企業数は3,031社(前年比30.2%減)であった。うちEU企業は1,049社(40.1%減)でその割合は約3割と例年より少なかった。なお、企業数ではイランからの投資が628件と最大だった。この結果、同年末にトルコで操業する外資系企業総数は3万2,604社、うちEU企業は50.3%の1万6,415社となった。

2012年の投資の受け入れを分野別にみると、アナドル・エフェスとSABミラー(英)との戦略パートナーシップによる株式移転(アナドル・エフェスがSABミラーのロシア子会社を取得するとともにSABミラーがアナドル・エフェス株式の24%、19億ドルを取得)により、食品・飲料が最大となった。製造業では化学・基礎医薬品が次ぎ、アゼルバイジャン国営石油会社(SOCAR)が民営化を通じペトキム・ペトロキミヤ・ホールディングの既保有株式(51%)に加え10.3%、1億6,850万ドルを買い増したほか、米アムジェンによるムスタファ・ネヴザト製薬(株式の95.6%)などのM&Aがあった。トルコの医薬品、医療関連に対する投資家の関心は引き続き高水準にある。サービスセクターでは、ロシアのズベルバンクによるデクシア(ベルギー・フランス系)のトルコ子会社デニズバンク買収(37億9,300万ドル)、クウェー

表5 トルコのFTA発効・署名・交渉状況

(単位:%)

	FTA	トルコの貿易に占める構成比(2012年)		
		往復	輸出	輸入
発効済み	EU	37.7	38.8	37.0
	EFTA	2.0	1.7	2.2
	イスラエル	1.0	1.5	0.7
	マケドニア	0.1	0.2	0.0
	クロアチア	0.1	0.1	0.1
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	0.1	0.2	0.1
	パレスチナ	0.0	0.0	0.0
	チュニジア	0.3	0.5	0.1
	モロッコ	0.4	0.7	0.2
	シリア	0.2	0.3	0.0
	エジプト	1.3	2.4	0.6
	アルバニア	0.1	0.2	0.0
	グルジア	0.4	0.8	0.1
	モンテネグロ	0.0	0.0	0.0
	セルビア	0.2	0.3	0.1
	チリ	0.2	0.1	0.2
	ヨルダン	0.2	0.5	0.0
	韓国	1.6	0.4	2.4
	モーリシャス	0.0	0.0	0.0
	合計	45.8	48.8	43.8
署名済み	レバノン	0.3	0.6	0.1
交渉中	ウクライナ	1.6	1.2	1.9
	コロンビア	0.3	0.1	0.3
	エクアドル	0.0	0.0	0.0
	マレーシア	0.4	0.1	0.5
	コンボ	0.1	0.2	0.0
	モルドバ	0.1	0.2	0.1
	コンゴ(旧ザイール)	0.0	0.0	0.0
	ガーナ	0.1	0.2	0.1
	カメルーン	0.0	0.1	0.0
	セーシェル	0.0	0.0	0.0
	湾岸協力会議(GCC)諸国	5.0	8.5	2.8
	リビア	0.7	1.4	0.2
	メルコスール	1.1	1.0	1.1
	フェロー諸島	0.0	0.0	0.0

[出所] トルコ経済省

表6 トルコの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、グロス、フロー>

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
鉱業	146	214	46.6	298	471	58.1
製造業	3,573	4,393	22.9	517	2,742	430.4
食品、飲料品、たばこ	648	2,199	239.4	57	2,279	3,898.2
化学、化学品、基礎医薬品および原料	348	519	49.1	40	40	0.0
ゴム、プラスチック製品	128	414	223.4	8	10	25.0
繊維・アパレル	148	375	153.4	32	77	140.6
基礎金属、同製品	292	192	△ 34.2	40	16	△ 60.0
コークス・石油製品	1,255	178	△ 85.8	21	0	△ 100.0
電気機器、精密機械	442	163	△ 63.1	14	33	135.7
輸送用機器	93	147	58.1	16	21	31.3
非金属鉱物製品	37	39	5.4	36	117	225.0
電力、ガス供給	4,244	923	△ 78.3	125	52	△ 58.4
建設	301	1,457	384.1	150	73	△ 51.3
金融・保険	5,882	1,435	△ 75.6	590	377	△ 36.1
医療、社会事業	231	545	135.9	32	2	△ 93.8
管理・サポートサービス業	47	242	414.9	-	7	全増
商業	709	219	△ 69.1	21	44	109.5
不動産業	300	184	△ 38.7	114	27	90.4
宿泊業、飲料サービス業	122	16	△ 86.9	14	191	1,264.3
合計(その他含む)	16,055	10,137	△ 36.9	2,542	4,334	70.5

[注] 対内直接投資は、流入株主資本部分のみ計上。撤退は含まない。対外直接投資は、対外直接投資のみ計上し、還流資本は含まない。数値は暫定値。

[出所] トルコ中央銀行

トのブルガンバンクによるユーロバンク・テクフェン買収(株式の99.3%、3億5,500万ドル)、パリ空港公団(ADP)によるTAV空港ホールディングの株式38.0%買収(8億7,400万ドル)などがあった。

2012年の対外直接投資額(還流は含まず)は、前年比70.5%増の43億3,400万ドルと好調であった。業種別にみると、食品、飲料品、たばこ分野への投資が前年比40倍の22億7,900万ドルと突出している。このため同部門の構成比は前年の2.2%から52.6%へと急増した。

国・地域別にみると、EUが71.9%を占め最大の投資先となっている。中でも2012年の投資を牽引したのは同年に国交樹立400周年を迎えたオランダで、前年比5.3倍の27億6,400万ドルとなった。これは、全体の63.8%を占め、一国としては最大である。次いで米国(1億3,900万ドル、3.4倍)、アゼルバイジャン(3億7,300万ドル、25.6%増)、ロシア(1億6,300万ドル、85.2%増)の増加額が大きい。

■ 日本の対トルコ輸出は自動車不振、輸入は好調

日本の財務省「貿易統計(通関

ベース)」で対トルコ貿易をみると、2012年の輸出は前年比21.0%減の24億2,220万ドル、輸入は11.9%増の5億7,690万ドルとなり、日本の出超額は27.6%減の18億4,530万ドルまでに圧縮された。

2012年の輸出の減少は、主要輸出品目である輸送用機器、一般機械、化学製品の減少額が大きかった。最も減少したのは輸出の2割を占める輸送機器で、トルコの国内自動車生産減を反映し52.0%減と半減し、4億6,590万ドルとなった。特に乗用車の減少が大きく、主力のガソリン

式(1500cc超3000cc以下)およびディーゼル乗用車(1500cc以下)がそれぞれ59.7%減、70.1%減と大きく減少した。また、バス・トラックも66.6%減少したほか、船舶も貨客船の輸出が前年の4隻から1隻に減少し輸出額が4,880万ドルと前年の4分の1になった。34.2%を占める一般機械では、特に建設用・鉱山用機械の輸出が20.0%減少した。一方、電気機器は重電機器が3倍弱増加したため2.2%増の2億6,650万ドル、原料別製品は鉄鋼が8.5%増加したことで6.4%増の5億2,150万ドルとなった。

表7 トルコの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、グロス、フロー>

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	11,456	7,180	△ 37.3	1,585	3,116	96.6
英国	904	2,004	121.7	20	84	320.0
オーストリア	2,418	1,491	△ 38.3	139	53	△ 61.9
ルクセンブルク	555	1,260	127.0	103	21	△ 79.6
オランダ	1,425	1,186	△ 16.8	526	2,764	425.5
ドイツ	665	551	△ 17.1	90	61	△ 32.2
スペイン	2,251	170	△ 92.4	6	15	150.0
スイス	233	448	92.3	28	67	139.3
ロシア	762	11	△ 98.6	88	163	85.2
米国	1,402	438	△ 68.8	41	139	239.0
中近東	1,516	1,173	△ 22.6	429	459	7.0
湾岸アラブ諸国	195	519	166.2	91	71	△ 22.0
アゼルバイジャン	1,266	339	△ 73.2	297	373	25.6
アジア	497	672	35.2	140	141	0.7
香港	163	39	△ 76.1	-	1	全増
日本	231	33	△ 85.7	-	-	-
合計(その他含む)	16,055	10,137	△ 36.9	2,542	4,334	70.5

[注] 対内直接投資は、流入株主資本部分のみ計上。撤退は含まない。対外直接投資は、対外直接投資のみ計上し、還流資本は含まない。EUはキプロスを除く26カ国。数値は暫定値。

湾岸アラブ諸国は、GCC諸国にイラクを加え、オマーンを除いた6カ国。

[出所] トルコ中央銀行

表 8 日本の対トルコ主要品目別輸出入

(単位:100 万ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2011 年		2012 年			2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	970	466	19.2	△ 52.0	雑製品	131	178	30.8	36.0
自動車	567	214	8.8	△ 62.2	衣類・同付属品	82	111	19.3	35.7
乗用車	448	176	7.3	△ 60.8	男子用スーツ, アンサンブル, ジャケット	13	20	3.5	50.5
乗用車 (1500cc 超 3000cc 以下)	175	71	40.3	△ 59.7	一般機械	37	49	8.5	32.0
ディーゼル乗用車 (1500cc 以下)	210	63	35.8	△ 70.1	原動機	27	39	6.7	41.7
バス・トラック	105	35	1.5	△ 66.6	エンジン部品	25	35	6.1	40.2
船舶	199	49	2.0	△ 75.5	輸送用機器	15	23	4.0	49.5
一般機械	969	828	34.2	△ 14.6	自動車の部分品	12	17	3.0	43.1
原動機	128	97	4.0	△ 24.6	食料品	182	187	32.4	2.8
建設用・鉱山用機械	373	298	12.3	△ 20.0	魚介類	56	68	11.7	20.7
荷役機械	31	16	0.7	△ 46.7	冷凍フィレ	52	60	10.5	15.6
加熱用・冷却用機器	42	27	1.1	△ 35.7	穀物類	15	24	4.1	62.9
化学製品	186	163	6.7	△ 12.8	パスタ	14	23	4.0	62.2
プラスチック	98	81	3.3	△ 17.9	野菜	24	34	5.9	40.2
電気機器	261	266	11.0	2.2	トマト調製品	19	26	4.5	35.7
映像機器	7	8	0.3	16.9	果実	18	24	4.1	30.2
重電機器	11	33	1.4	189.9	乾燥果実(イチジク, ブドウ, アプリコットなど)	10	13	2.2	22.3
原料別製品	490	522	21.5	6.4	たばこ	64	32	5.6	△ 49.1
鉄鋼	303	328	13.6	8.5	ホウ素の酸化物およびホウ酸	16	12	2.1	△ 23.7
合計(その他含む)	3,066	2,422	100.0	△ 21.0	合計(その他含む)	515	577	100.0	11.9

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」から作成

輸入を牽引したのは、輸入の約 2 割を占める衣類・同付属品 1 億 1,110 万ドル(35.7%増), 1 割を占める魚介類 6,760 万ドル(20.7%増), および原動機 3,850 万ドル(41.7%増), 野菜 3,380 万ドル(40.2%増), 穀物類 2,360 万ドル(62.9%増), 果実 2,380 万ドル(30.2%増)などである。

品目別を細かくみると輸入の増加額が大きかったのは、衣類・同付属品では男子用スーツ, アンサンブル, ジャケットが 2,010 万ドル(50.5%増), 魚介類では冷凍フィレ 6,030 万ドル(15.6%増), 原動機ではエンジン部品 3,510 万ドル(40.2%増), 野菜では伝統的な輸入品目であるトマト調製品 2,580 万ドル(35.7%増), 穀物類ではパスタ 2,340 万ドル(62.2%増), などである。このほかトルコからの輸入が多い品目についてみると、乾燥果実が 1,250 万ドル(22.3%増)と好調であった。

■ 加速化する日本企業のトルコ進出

トルコの経済発展を好感して、日系企業のトルコ進出も加速化している。2012 年は、金額では前年比 85.7%減の 3,300 万ドルと落ち込んだが、これは、大型案件の資金払い込みが 2013 年にずれ込んでいるため、基調的には増勢を維持している。2012 年は製造業、サービス業の進出も活発にみられた。製造業では、東洋鋼鈑, 住友電気工業, OSG, 住友ゴム工業, ホシザキ電機, 大塚製薬など

が相次いでトルコ企業との合弁事業を立ち上げたほか、三菱電機がトルコおよび周辺地域における事業拡大のために現地法人を設立した。非製造業では、三井住友銀行ドバイ支店イスタンブール出張所, みずほコーポレート銀行(現みずほ銀行)の駐在員事務所の開設, 郵船ロジスティクスの現地法人設立, 日立データシステムズの支店設立などがあった。

また 2011 年に引き続き M&A 型の投資も多くみられた。日東電工は工業用テープメーカーのベント・バンチェリックを買収, 富士フィルムは 2011 年のフィルムド買収に続き, フィルマット・デイス・ティジャーレットを買収, 日清食品がユルドウズ・ホールディングス傘下のベリーニ・グダ・サナイ・アーシェの株式 50%を買収した。NTT データのドイツ子会社アイテリジェンスはエルシスの株式 60%を買収するなど欧州拠点を通じたトルコ事業展開の動きもある。

この結果、2012 年 6 月以降日本資本の企業数は 38 社増加して、年末時点で 158 社に達した。2013 年に入ってから三菱東京 UFJ 銀行が現地法人を設立, 三菱電機の現地法人が現地販売代理店を買収, 東芝メディカルシステムズが医療機器販売会社を買収しそれぞれ子会社化, 住友商事が農薬販売会社を設立したほか, JFE 商事, 理研ビタミン, ミルボンが駐在員事務所を, 清水建設が支店を設立するなど進出の流れが続いている。